

第29回日本助産学会 学術集会

●会期

◎プレコンgres

3月27日(金)

◎大会

3月28日(土)・29日(日)

●会場

きゅりあん(品川区立総合区民会館)
(東京都品川区東大井5-18-1)

●テーマ

社会をうごかす助産のちから——
女性、母子と家族への切れ目ない
支援を実現するために

●プログラム

◎プレコンgres

「クリニカルラダーレベルⅢ認証を
申請しよう」

「助産にともなう倫理」

◎会長講演「社会をうごかす助産
のちから」島田真理恵

◎基調講演「少子高齢社会のライ
フスタイル」藤村正之

◎特別講演

「全ての妊産婦と新生児に助産師
のケアを提供するための助産師出
向制度」福井トシ子

「世界の母子保健の方向性と助産
師の役割」池上清子

◎シンポジウム

「助産師教育の将来ビジョン」

「産科医療補償制度と医療安全」

◎教育講演「助産に活かす心理尺
度の使い方」久田 満

◎ワークショップ

「周産期のメンタルヘルスに強くな
ろう～何かおかしいをどのように
に支援するか～」

「助産業務ガイドライン2014～助
産師共通の業務安全指針としての
理解を深めるために～」

「骨盤機能から考える妊娠・出産
と産後のQOL」

ほか

●参加費(当日)

会員1万2000円、非会員(医療専門職)1万5000円、学生5000円

●会長

島田真理恵(上智大学総合人間科学部看護学科)

●問い合わせ先

株式会社日本旅行 ECP 営業部
〒105-0001 東京都港区虎ノ門
3-18-19 虎ノ門マリビル11階
TEL: 03-5402-6401

FAX: 03-3437-3955

e-mail: jam_2015@nta.co.jp

第67回日本産科婦人科学会学術講演会

●会期

4月9日(木)～12日(日)

●会場

パシフィコ横浜

(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

●テーマ

知の連携 inter-and intra-professional relationships

●プログラム

◎会長講演「卵胞発育の制御機構」峯岸敬(群馬大学)

◎教育講演1「産科：その特殊性について」水上尚典(北海道大学)

◎教育講演2「加齢と妊孕能、その診断」久具宏司(東京都立墨東病院)

◎シンポジウム1(生殖)「卵巣のダイナミックな変化の神秘に迫る——臨床へのフィードバックを目指して」

◎シンポジウム2(腫瘍)「子宮頸部腫瘍の病態に関する新知見——診断・治療法の開発に向けて」

◎生涯研修プログラム6「遺伝カウンセリングのあり方」遺伝性乳

がん・卵巣がん(中村清吾・昭和大学)／NIPT 遺伝カウンセリングとインフォームド・コンセント(福岡博孝・福岡弁護士事務所)／PGD／PGS(河合蘭・フリーライター)／HTLV-1(安河内眞美・ギャラリーやすこうち), ほか

●参加費

会員1万8000円

非会員2万円

初期研修医(会員)無料

初期研修医(非会員)3000円

医学部学生 無料(学生証提示)

●会長

峯岸 敬(群馬大学医学部産科婦人科学)

●問い合わせ先

運営事務局

株式会社コングレ内

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル6階

TEL: 03-5216-5318

FAX: 03-5216-5552

e-mail: jsog2015@congre.co.jp

日本看護歴史学会 第29回学術集会 一般演題募集

●一般演題募集期間(口演・示説)

◎登録期間

4月30日(木)まで

◎登録方法

メールまたは郵送で、学術集會事務局までお送りください。詳細は下記ホームページを参照ください。

●学術集會会期

8月22日(土)・23日(日)

●会場

札幌医科大学 臨床教育研究棟
(北海道札幌市中央区南1西17)

●テーマ

「歴史学の可能性と未来——空間と時間を越えて」

●プログラム

会長講演「看護師教育の課題と未来の看護創造への可能性」
教育講演／シンポジウム／一般演題（講演・示説）／理事会セッション／懇親会、ほか

●参加費

（～7月3日まで）

会員 7000 円

非会員 8000 円

大学院生を除く学生 500 円（当日受付）

●会長

城丸瑞恵（札幌医科大学保健医療学部）

●問い合わせ先

日本看護歴史学会第 29 回学術集会事務局（佐藤公美子）

FAX：011-612-5525

e-mail：kangorekishish@sapmed.ac.jp

HP：http://web.sapmed.ac.jp/

kangorekishish/

第 5 回のちフォーラム in 鳥取

●日時

5 月 16 日（土）9：00～16：20

●会場

とりぎん文化会館

（鳥取県鳥取市尚徳町 101-5）

●プログラム

「トメさんの死、たかし君の死」
細谷亮太、徳永進

「私より若い看護師たちへ——私の遺言に耳傾けて！」川島みどり
「阿川、谷川、天の川」阿川佐和子、谷川俊太郎

「家族ケア——家族ケアの大切さ——家族の中から“いのち”が消える!?」児玉久仁子

●参加費

事前申し込み 2500 円

当日 3000 円

●申し込み方法

専用申込用紙をホームページ（http://tottoriinochi.web.fc2.com/）よりダウンロードのうえ、FAX 送信か、チケットを購入ください（チケット取扱い：定有堂書店・野の花診療所）。

●問い合わせ先

野の花診療所

〒680-0824 鳥取県鳥取市行徳 3 丁目 431

TEL：0857-36-0087

FAX：0857-27-0087

e-mail：nonohanahospice@yahoo.co.jp

第 14 回日本不妊カウンセリング学会学術集会

●日時

5 月 29 日（金）10：00～18：30

●会場

◎日本消防会館「ニッショーホール」

（東京都港区虎ノ門 2-9-16）

◎発明会館

（東京都港区虎ノ門 2-9-14）

●テーマ

「がんと生殖」～がんと向きあう不妊カウンセリングをめざして～

●プログラム

◎教育講演 1「乳がんと生殖 『診断の手引き』は何を変えるか？」
清水千佳子（国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科）

◎教育講演 2「がん化学療法と生殖～薬剤師はがんにどうかかわっていくか？」伊藤忠明（虎の門病院 薬剤部）

◎シンポジウム「“がんと生殖”の連携と協働を考える」

一般病院における病診連携／不妊クリニックにおける病診連携／総

合病院における院内連携・病病連携／がん・生殖医療における精神的サポート体制構築にむけての取り組み

●参加費

3000 円（当日会場にて受付）

●学術集会長

東梅久子（虎の門病院 産婦人科リプロダクションセンター）

●問い合わせ先

NPO 法人日本不妊カウンセリング学会

〒104-0051 東京都中央区佃 2-13-7 メディカルブレインサービス

TEL：03-3533-6531

FAX：03-3533-6532

HP：http://www.jsinfcc.com

第 56 回日本母性衛生学会 総会・学術集会 演題募集

●演題募集期間

6 月 2 日（火）まで

●学術集會会期

10 月 16 日（金）・17 日（土）

●会場

◎盛岡市民文化ホール「マリオス」
（岩手県盛岡市盛岡駅西通 2-9-1）

◎いわて県民情報交流センター「アイーナ」
（岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1）

●テーマ

つないでいこう未来への母性医療——イーハトーブからのメッセージ

●プログラム

招請講演「小説からみた女性の生き方」浅田次郎（作家）

市民公開講座「世界遺産 平泉の浄土思想」山田俊和（中尊寺 貫首）、ほか

●問い合わせ先

運営事務局

ヤマダプランニング内

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡
1-5-5
TEL : 019-635-6011
FAX : 019-635-6033

日本看護協会 通常総会 全国助産師交流集会

【通常総会】

●日時

6月9日(火)14:00~17:30

6月10日(水)10:00~16:15

●会場

神戸国際展示場 2号館
(兵庫県神戸市中央区港島中町 6-11-1)

【全国助産師交流集会】

●日時

6月11日(木)9:30~16:00

●会場

神戸国際展示場 1号館 2階
(兵庫県神戸市中央区港島中町 6-11-1)

第38回 JALC 母乳育児 支援学習会 in 神戸

●日時

6月20日(土)10:00~18:00

6月21日(日)8:45~15:15

●会場

神戸国際展示場 2号館コンベンションホール
(兵庫県神戸市中央区港島中町 6-11-1)

●対象

母乳育児を援助する専門家(助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、栄養士など)をはじめ、学生、母乳育児支援団体認定リー

ダーなど、母乳育児支援に興味のある方であれば、どなたでも参加いただけます。

●プログラム

今回の学習会では、乳幼児の睡眠や添い寝に関する研究の第一人者である Helen L. Ball 氏(英国 Durham 大学人類学教授。乳児と親の睡眠研究所)をお招きして、乳児の睡眠の発達や睡眠と母乳育児に関する興味深い講義をお願いします。

「Understanding normal infant sleep: sleep development and sleep ecology (乳児の通常の睡眠パターンを理解する: 睡眠の発達と生態学)」

「Breastfeeding and infant sleep: what happens at night on the postnatal ward? (母乳育児と乳児の睡眠: 産後の病棟では、夜、何が起きているか?)」 Helen L. Ball (PhD) (通訳あり)

「母乳育児の解剖生理: 基礎と最新情報」水野克己(小児科医, IBCLC)

「母乳育児研究の方法と倫理」名西恵子(小児科医, IBCLC)

「添い寝に関する日本の文化とSIDS(乳幼児突然死症候群)」井村真澄(助産師, IBCLC)

「母乳育児成功のための10ヵ条, 理論から実践へ——障壁を見つめ、できることから1つずつはじめていくためには」五十嵐祐子 (IBCLC), 田中奈美(産婦人科医, IBCLC), 黒澤かおり(助産師, IBCLC)

ほか

●申し込み方法

JALC のホームページ (<http://jal-net.jp>) を参照ください。

●問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会
TEL : 022-725-8560
FAX : 022-725-8561

日本母子ケア研究会 第16回学術・実践報告会

●日時

6月21日(日)10:00~16:00

●会場

横浜市健康福祉総合センターホール
(神奈川県横浜市中区桜木町 1-1)

●対象

看護師・保健師・助産師等医療従事者、母子支援にかかわる専門職者

●プログラム

◎教育講演「愛着の絆を育む専門職の尊い使命——理論と実践」ヘネシー澄子

◎報告会

「強みを伸ばす母乳育児支援——オレゴン・ヘルシースタートに学んで」佐藤のり子

「安楽な授乳をめざす支援」高橋恵美子

「脳が活性化する授乳——母と子がコミュニケーションをとる授乳」伊東厚子

●参加費

事前申込(6月12日まで)

1万円(年会費込)

当日参加(6月13日以降の申し込み)

1万2000円(年会費込)

●問い合わせ先

日本母子ケア研究会
TEL : 0265-82-3600
FAX : 0265-82-5177

情報お待ちしています。

告知したいイベント、セミナーなど編集室にお寄せください。開催日の約2か月前にFAX、郵送、e-mailなどでお送りいただけると幸いです。
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室/FAX.03-5804-0485/e-mail.josan@igaku-shoin.co.jp

e-mail : boshicare@n-souken.co.jp

第16回日本赤十字看護学会学術集会

●会期

6月27日(土)・28日(日)

●会場

日本赤十字看護大学
(東京都渋谷区広尾4-1-3)

●テーマ

赤十字の「しなやかな強さ」——
1人ひとりを大切にする生活ケア
のデザイン

●プログラム

◎会長講演「看護実践批評の試み——しなやか強さの探求に向けて」高田早苗(日本赤十字看護大学学長)

◎教育講演「当事者とともに歩む、これからの専門家ケアのかたち」猪飼周平(一橋大学教授)

◎特別講演兼市民講座「明けない夜はない——住民の生活再建を願って」馬場有(福島県浪江町長)

◎シンポジウム「ケア共同体を生み出す、運動体としての赤十字」惣万佳代子(NPO法人「このゆびと一まれ」代表)

村松静子(在宅看護研究センターLLP代表)

浦田喜久子(日本赤十字九州国際看護大学学長)

●問い合わせ先

第16回日本赤十字看護学会学術集会事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内

FAX : 03-3409-0589

e-mail : jrdsn@redcross.ac.jp

HP : <http://www.jrdsn16.jp/>

第11回ICMアジア太平洋地域会議・助産学術集会

●会期

7月20日(月)～22日(水)

●会場

パシフィコ横浜
(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

●テーマ

すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを

●プログラム

◎会長講演「すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを」坂本すが

◎基調講演「ICM会長による講演」Frances Day-Stirk

◎特別講演

「アジアにおける助産師活動支援——ベトナム助産師会とモンゴル助産師会の立ち上げから」南野知恵子

「産科医療補償制度と周産期における医療安全」後 信

◎教育講演「原著に学ぶクリステル胎児圧出法」池ノ上克

◎自由集会

「母乳育児支援」

「女性の寄り添う助産教育を考える」

「もはや産科では、子供は産まれない？“混合病棟”における分娩の安全と質を考える」

「アジア・アフリカの助産ケアを考えよう！」

「助産診断名の臨床への応用——電子カルテにどのように導入するか」

「ベリネイタル・ロスのケア——体験者の声を聴こう」

◎ワークショップ

「今、求められている産後ケア」(市川香織, 坂梨 薫, 萩原玲子)
「エビデンスを助産実践に活かそう」(大田えりか, 村山綾子, 永森久美子)

「日本の助産師の技を受け継ごう」(山本詩子, 神谷整子, 矢島床子)
「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)の活用～取組事例から学ぼう！～」(安田陽子, 大城洋子, 久保絹子, 砥石和子, 村田佐登美)

ほか

その他, エクスカーションで, 助産院の見学ができます。

●参加費

◎早期事前登録3万円(～4月30日)

◎通常事前登録4万円(5月1日～6月17日)

◎当日登録5万円(7月20日～7月22日)

◎学生は全登録期間において, 以下の料金です。

助産学生5000円, 大学院生1万円(7月20～22日時点で学生の方が対象。当日学生証の提示が必要です。)

●申し込み方法

事前登録は, ホームページ(<http://www.icmaprc2015.org/>)上の申込フォームよりお申し込みください。

●問い合わせ先

第11回 ICMアジア太平洋地域会議・助産学術集会 運営事務局(株式会社コングレ内)

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル

TEL : 03-5216-5318

FAX : 03-5216-5552

e-mail : icm2015aprc@congre.co.jp